

【災害に応じた対応を理解する】

【地震編】 地震災害について

いつ地震が起きてても困らないよう、地震による被害を知り、日頃から地震への備えをしておきましょう。



●篠栗町に被害を及ぼす地震

福岡県内で存在が確認されている主な活断層は7つあります。

平成17年(2005年)には、このうちの一つである警固断層帯(北西部)を震源とした福岡県西方沖地震が発生し、大きな被害が発生しました。篠栗町近くには「宇美断層」及び「西山断層帯」が確認されています。

また、近年では活断層が確認されていない地域でも、未知の断層の活動による地震が発生し、大きな被害が発生しています。

■篠栗町周辺の活断層

活断層名	西山断層帯 西山区間	宇美断層	警固断層帯 南東部
想定される地震の規模 ^{※1} (マグニチュード)	7.6程度	7.1程度	7.2程度
篠栗町で想定される 最大震度 ^{※2}	6弱	6弱	6弱
30年以内に地震が 発生する確率 ^{※1}	不明	ほぼ0%	0.3%~6%

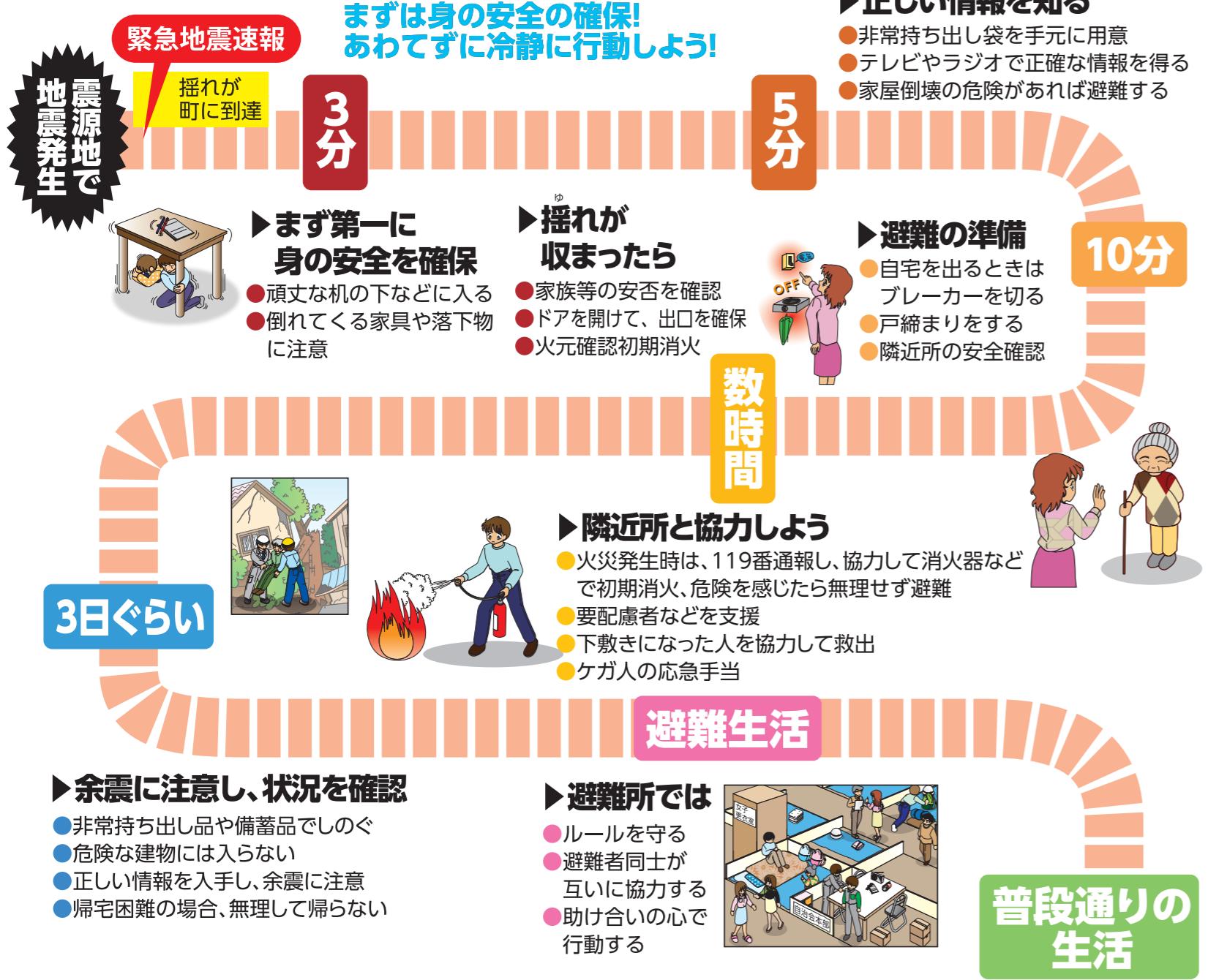
※1 地震調査研究推進本部 主要活断層の長期評価(算定基準日 令和2年(2020年)1月1日)

※2 地震に関する防災アセスメント調査(福岡県 平成24年3月)



※地震調査研究推進本部資料をもとに作成

●地震発生時の心構えと行動



●地震発生時の安全のポイント

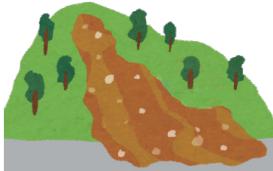
路上では

- 手荷物などで頭を守り、広場などへ移動する。
- 繁華街ではガラスや看板などの落下物に注意する。
- 建物や塀、電柱などから離れる。自動販売機の転倒にも注意する。



斜面やがけの近くでは

- 土砂災害の危険があるため、すぐに斜面などから離れる。
- 余震や大雨の影響で土砂災害の危険性が高まることがあるので注意する。



エレベーターの中では

- 最近のエレベーターは地震の揺れを感知すると自動的に最寄りの階に停止するのでそこで降りる。自動で停止しない場合は、すべての階のボタンを押し、停止した階で外に出る。
- 万が一、閉じ込められた場合は、非常ボタンやインターホンで外部と連絡をとり、救助を待つ。天井などから無理に脱出するのは危険。



地震発生時は、避難者や救急車などの緊急車両の通行を優先的に確保する必要があります。避難者や緊急車両が円滑に通行できるよう皆さんのご協力をお願いします。



★緊急地震速報を聞いたら、まずは身を守ろう!

地震が起こると「カタカタ」という揺れの後に、「ゆさゆさ」という大きな揺れがきます。この地震の波の特徴を使い、気象庁はテレビ・ラジオや携帯電話を通じて、緊急地震速報を発表しています。

- 震度5以上が予想されるときに発表されます。
- 速報発表から大きな揺れが来るまでは、数秒から数十秒です。
- 震源に近い地域では、緊急地震速報が出る前に強い揺れが来ることがあります。

速報どおりの揺れが来ないこともありますが、数秒間で大きな家具から離れるなど身を守る行動を取ってください。



●我が家とその周辺の点検と対策

屋根

屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

耐震診断・改修

専門家にチェックしてもらう。

プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

感震ブレーカー

電気を遮断してくれる。

ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

ブロック塀

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

窓ガラス

飛散防止フィルムを貼ったり、厚手のカーテンで割れた窓ガラスの飛散防止を行う。



家具の配置のポイント

大型の家具や家電は、転倒防止器具で固定する。(固定方法は、固定器具の説明書をよく確認する。)

寝室には、できるだけ家具を置かない

- ガラスには飛散防止のフィルムを貼る。
- つかえ棒で固定。
- 食器や本などは、中のものが飛び出さないようロックをつける。
- 収納は重いものを下へ、軽いものを上へ入れる。(家具転倒の軽減)
- 転倒防止シールなどで固定。
- 金具で固定。

